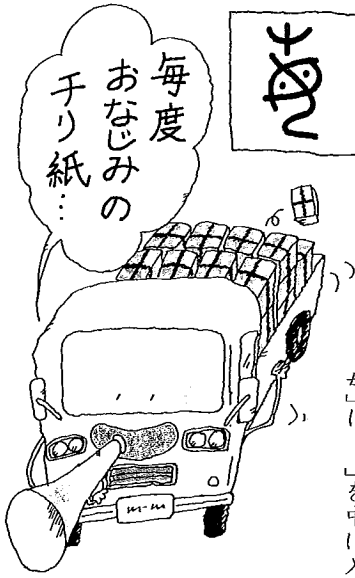
毎

【2年】

6画

音 マイ



なりたち 古い字形は母で、草の象形の屮と母との会意字。草が母なる大地の恵みを受けて、見る〝たびごとに〟生長するということで、〝たびごとに・いつも〟という意味を表す。

いみとじゅくご
▼そのたびごとに。つねに。
毎度…いつも。たびたび。
毎日…いつの日も。
毎月…どの月も。月ごとに。
毎年…どの年も。年ごとに。
毎朝…朝ごとに。
毎晩…晩ごとに。
毎々…いつもいつも。

よみかた 毎回・毎期・毎号・毎時・毎週・毎度・毎夕・毎夜

さんこう 「毎」と「母」の書き方に注意しよう。「毎」は「ノ」、「母」は「、」を中に入れる。

海

【2年】

9画

音 カイ

うみ

なりたち 母の意味の毎と水との会意形声字。海は大地を初め万物を地球上に生み出した母である。海をうみというのは〝生み〟という意味である。万物の生みの母を海という字で表すわけである。

いみとじゅくご
▼うみ。
海岸…海に接している陸地。
海峡…陸と陸にはさまれた狭い海。
海戦…海の上での戦争。
航海…船で海を渡ること。
領海…その国のものになっている海。
海千山千…海に千年、山に千年住んだ蛇は竜になれることから、経験を積んだしたたか者の意味。
▼広々として大きい。
海容…広い心で相手を受け入れ、許すこと。用例ご海容ください。(許しを願う時の言葉。)
▼ものがたくさん集まる所。
樹海…広々とひろがっている大森林を海に例えた言葉。

さんこう 特別なよみかた→海女・海原

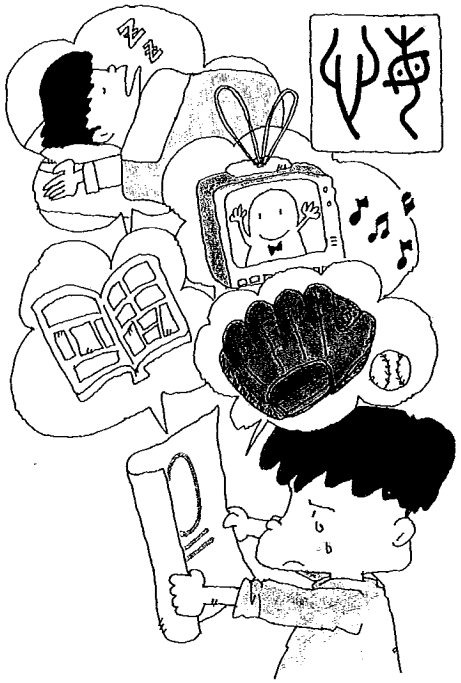
悔

【4年】

9画

音 カイ

くい・くやしい



なりたち 毎と心との会意形声字。何か折ある〝ごとに・いつも〟心に思い出す、という意味の字で〝くやむ〟こと、〝くやしい〟気持ちを表したもの。

いみとじゅくご
▼くやむ。くいる。
後悔…後になって自分のしたことをくやむこと。用例後悔先に立たず。
悔悛(しゅん)…自分の非を悟って心を入れかえること。
悔恨…自分の非をくやむこと。
悔悟…今までのあやまちを悟って改めること。
悔し涙…悔しがって流す涙。

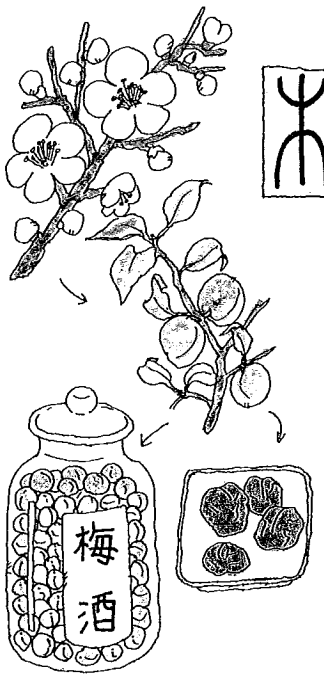
梅

【4年】

10画

音 バイ

うめ



なりたち 木と毎(漢音はバイ)との形声字。本字は某Ⅱ楳(ばい)で、甘ずっぱい実のなる〝うめの木〟を表した。〝梅〟と〝毎〟と音が同じため、梅と書かれるようになった。

いみとじゅくご
▼うめ。
梅雨…梅の実がなるころ(六月中旬ごろから七月のはじめにかけて)降る長雨。
探梅…梅林に行って梅の花をめでること。
松竹梅…長寿を保つので縁起が良いとされる植物。松と竹と梅。

よみかた 梅酒・梅干し・梅園・梅林・寒梅・観梅・紅梅・白梅

さんこう 特別なよみかた→梅雨